

2019年6月27日

## ADK マーケティング・ソリューションズ、6秒 CM 素材を ピクチャーインピクチャーでオンエア オンエア中のTV画面注視度を計測 — 読売テレビ放送株式会社と関西では初となる企画 —

株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ(本社:東京都港区、代表取締役社長:植野伸一、以下「ADK MS」)は、読売テレビ放送株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長 大橋善光、以下読売テレビ)と、デジタル広告で使用する6秒 CM 素材を、テレビ番組本編進行中に画面に表示されるピクチャーインピクチャーの手法でオンエアし、オンエア時の視聴者のテレビ注視度を測定する企画を実施いたしました。

ピクチャーインピクチャー(PIP)とは、画面上に同時に複数の画面を表示させることを意味します。テレビ放送においては、スポーツ中継など、番組の流れを中断せずに広告を表示する方法として注目されており、米国では圧倒的な人気のスポーツ番組などで定着していますが、日本ではまだ前例が少なく有効な活用方法が模索されている段階です。

このたび、ADK MS と読売テレビは、6月21日(金)『Fun!BASEBALL!!2019「阪神×西武」』において、通常デジタルメディアで使用する6秒 CM 素材を、提供表示の代わりにピクチャーインピクチャーでオンエアいたしました。野球中継は6秒素材オンエア中も途切れずに表示され、視聴者は「重要なシーンを見逃すのではないか」というストレスなく、6秒素材を見ることができます。

今回、ADK MS と読売テレビは、「阪神×西武」という好カードの試合中に KONAMI『プロ野球スピリッツ A』の6秒素材をオンエアし、TVISION INSIGHTS 株式会社の視聴質データを使って、視聴者の「TV注視度」(AI値※)を測定いたしました。



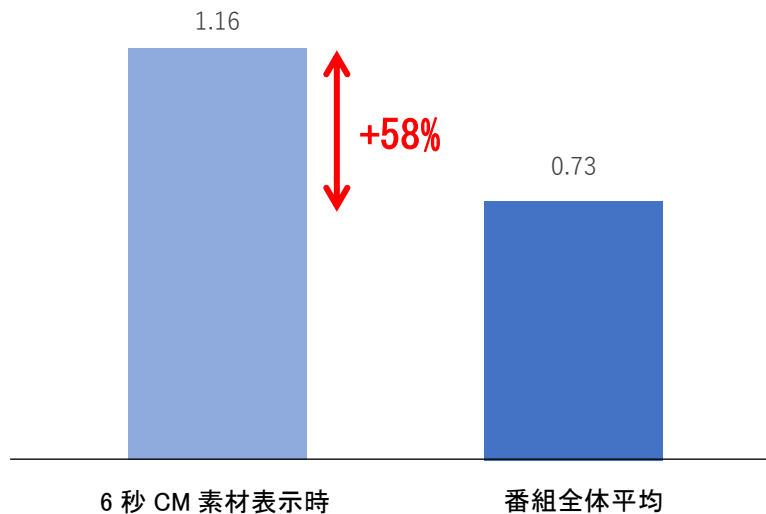
KONAMI『プロ野球スピリッツ A』



画面イメージ

試合は全画面で継続して中継され、左下の小画面で6秒間 CM 素材(提供表示)が流れる。

## 【6秒 PIP 平均と番組全体平均の注視度比較/個人全体】



TVISION INSIGHTS 社の協力のもと、6秒 PIP オンエア時の視聴者の AI 値(注視度 = Attention Index)を計測(※)。6秒 PIP 注視度(2回オンエア平均)は、番組全体の平均注視度を大きく上回りました。

※AI 値(注視度 = Attention Index)

テレビ画面に人の顔が向いているかを示す。数値が高いほど、画面を注視した人数が多く、注視秒数が長い。

## 〈読売テレビ 営業局ビジネス開発部 コメント〉

読売テレビでは、スポーツ中継番組の価値を高めより多くの視聴者の皆さんに楽しんでいただくのと同時に、広告主様には、新しく、効果の高い広告の手法をご提案し、活用いただきたいと考えております。今回6秒 CM 素材を PIP でオンエアし、「注視度」の変化を計測という関西初のトライアルを行いました。このような取り組みを通して、広告主様にテレビの価値を再認識していただければと思っております。PIP は今後「リッチ提供表示企画」として、セールス拡大の可能性を検討してまいります。

ADK MS では、今後も、放送局各社と協力し、視聴者に注目度高く CM を視聴いただける広告効果の高いご提案をしていきます。

## 〈TVISION INSIGHTS 概要〉

関東(一都六県)800 世帯、関西(大阪)100 世帯の一般視聴者宅に人体認識アルゴリズムを組み込んだセンサーを設置し、顔認証システムを用いてテレビの前に人がいるか、視聴者の表情、番組のどこで画面に注目したかといった視聴態勢を計測しています。

2015年6月より計測スタートし、2019年6月現在、地上波6局7チャンネルの全番組について、毎秒レベルで視聴質の計測を行っています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社 ADK ホールディングス グループ広報室

中島・平尾

TEL: 03-6830-3855

e-mail: [adkpr@adk.jp](mailto:adkpr@adk.jp)